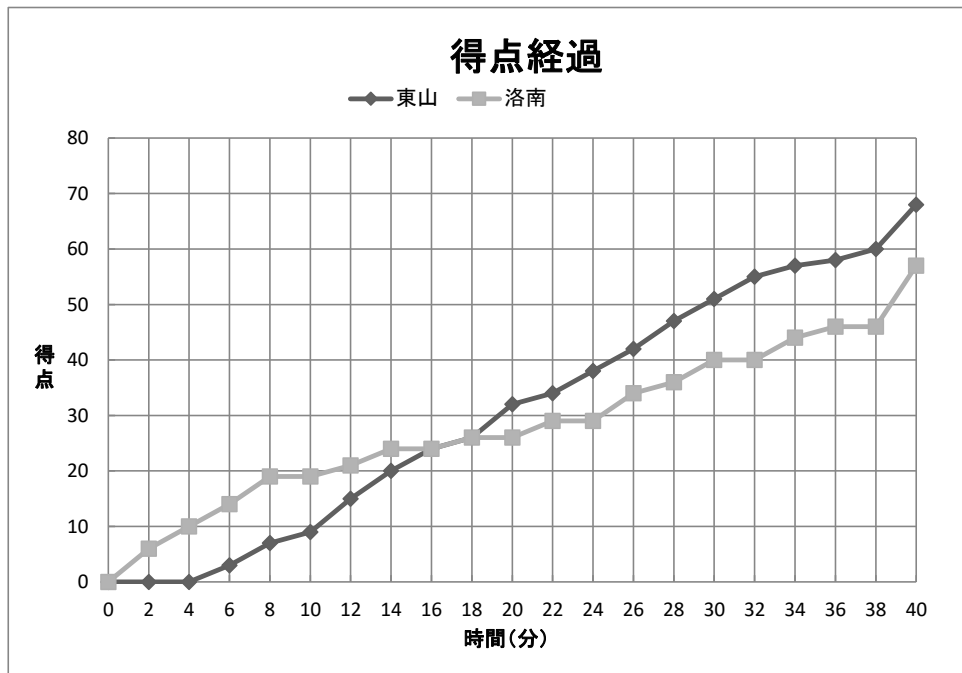


平成30年度 全国高等学校総合体育大会 京都府予選 兼
第65回 近畿高等学校バスケットボール大会 京都府予選

個人トータル表

男子		平成30年6月2日 14:00 開始											
決勝		ハンナリーグスアリーナ M											
◎ 東山 68		9 1st 19 23 2nd 7 19 3rd 14 17 4th 17				57 洛南							
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	狩野 皓介	2	0	1	0	1	* 4	笹山 陸	12	2	3	0	-
* 5	吉田 竜丸	17	1	5	4	2	* 5	飯尾 文哉	7	0	2	3	4
* 6	高柳 優也	0	0	0	0	2	* 6	納土 修汰	9	1	2	2	3
* 7	中川 泰志	0	0	0	0	-	7	永山 快	2	0	1	0	-
8	小村 友貴	0	0	0	0	1	* 8	浅野 龍悟	4	0	2	0	4
9	山本 洋平	2	0	1	0	-	9	澁谷 錬	2	0	1	0	1
10	松野 圭恭	5	1	1	0	1	10	四宮 将貴	0	0	0	0	-
* 11	米須 玲音	4	0	1	2	3	11	細井 征	0	0	0	0	-
12	藤井 量斗	0	0	0	0	-	12	福島 大智	0	0	0	0	-
13	脇阪 凪人	0	0	0	0	1	* 13	星川 堅信	21	3	6	0	1
14	大谷 真也	0	0	0	0	-	14	飯田 陽大	0	0	0	0	-
* 15	山本 洋平	38	0	16	6	3	15	北橋 岳洋	0	0	0	0	-
16	横井 裕史	0	0	0	0	-	16	井ノ元 孝多朗	0	0	0	0	-
17	村山 陣	0	0	0	0	-	17	原田 太一	0	0	0	0	1
18	大村 瞭斗	0	0	0	0	-	18	小川 敦也	0	0	0	0	-
コーチ	大澤 徹也						コーチ	吉田 裕司					
Aコーチ	田中 幸信						Aコーチ	河合 祥樹					
合計		68	2	25	12	14	合計		57	6	17	5	14
主審: 岩木 太郎 第1副審: 富島 健司 第2副審: 中澤 久馬													



〔戦評〕
 スタートと同時に主導権を握ったのは洛南。#13のアシストで#6がジャンプシュート、#4の1on1、#5が速攻、#13の3Pと3分で10得点。対する東山は#15がゴール下で踏ん張り、フリースローを含め9得点と東山の第一ピリオドすべての得点あげる。洛南は高い集中力でその後も#4の3P、#9のジャンプシュートと得点を重ねる10点にリードを広げるが、スターティングメンバーの2人が2つのファウルとなる。
 第二ピリオドは東山が高さを生かした攻めで#15がゴール下を次々と決め、わずか3分で4点差まで詰め寄せると、#10の3P、#5の速攻など攻めにリズムが生まれ、同点まで次々と得点していく。一方の洛南は#13の3P、#8のバスケットカウントでつなぐが流れが奪えず、残り4分からディフェンスで仕掛け、ターンオーバーを誘発するが得点することができない。東山は#15を休ませ、その間に#5・#9の活躍で逆転リードを広げ32-26と6点リードで折り返す。
 後半も東山のペースは変わらず、#5がピックからレイアップを決め、#15がゴール下で力強いプレーを見せる。追いかける洛南は、思い切ったシュートが打てずペースダウン。洛南#4の3P、#13の速攻でつなぐが、ハーフコートではインサイドを東山#15が支配し守備でもブロックショットなどで存在感を示し、オフェンスでも#11のアシストからダンクシュートでチームを盛り上げる。洛南はディフェンスを変えきかけを探すが51-40と東山がリードを広げる。
 第4ピリオド、東山は#4の思い切りよいジャンプシュートで流れを掴むと、#5・#15が連続して得点していく。洛南は#13の1on1、#5の速攻で食らいつくが点差を縮めることができない。オールコートで勝負に出るとオフェンスも#13を中心に積極的に攻め、#13が3Pのバスケットカウントで残り1分で9点差まで詰め寄るが、東山がゲームをコントロールし68-57の11点リードで東山の優勝となった。
 記録：南陽高校 戦評：木村 励 〔同志社国際〕